

印西市第10次実施計画(改訂版)を策定

合併後、新しい市として円滑な運営と均衡のとれた健全なまちづくりを推進するため、市が取り組む主要な事業を明記した「第10次実施計画(改訂版)」を策定しました。

「第10次実施計画(改訂版)」は、まちづくりにおける各種施策を推進するため、平成23年度から24年度にかけて市が取り組む194の事業とその内容を明記しています。

なお、現在市では、平成24年度からのまちづくりの最上位計画となる新たな「基本構想」および「基本計画」の策定を進めているため、施策の体系などは、昨年度をもって終了した前基本構想・基本計画および印西市・印旛村・本笠村合併協議会で策定した新市基本計画を基に策定しています。

このうち、平成23年度の主要事業(予算事業)として位置付けたものは次のとおりです。

6つの柱の目的および平成23年度主要事業

①緑豊かな自然を生かす持続的なまちづくり

●目的：地球規模の環境破壊が問題となっている今日、本市においてもこれまでのような利便性追求型の急な開発から、環境共生型の持続可能なまちづくりを推進するとともに、緑豊かな環境を創造し、自然環境や田園風景を未来の世代に引き継いでいきます。

【事業名】▼環境基本計画の推進事業(25,179千円)▼不法投棄対策に要する経費(2

3,726千円)▼太陽光発電システム等設置費補助事業(25,000千円)▼21住区公園整備事業(16,120千円)。

②互いに支え合い心が通うまちづくり
●目的：誰もが印西市に任んでいてよかつたと思える健康で、真に安心していつまでもいきいきと暮らせるまちづくりを推進していくために、高齢者・障がい者・児童が安心して利用できる各種サービスの充実・支援システムの構築をめざしていきます。

また、社会の状況の変化に対応できるまちづくりをめざしていきます。

【事業名】▼社会福祉総務事務に要する経費(7,374千円)▼介護予防事業に要する経費(18,851千円)▼(仮称)21住区保育用地取得事業(180,000千円)▼予防接種事業(221,407千円)▼児童医療費(旧子ども医療費)助成事業(52,532千円)▼がん検診事業(75,263千円)▼女性特有のがん検診推進事業(12,796千円)。

③多彩な産業が育つ活力あるまちづくり

●目的：本市が広域幹線道路の交差点に位置するという地理的特性や千葉ニュータウンの企業集積や大学立地、恵まれた自然環境を生かしながら、新しい製品の開発や高付加価値化、リサイクル製品の開発など、意欲的な技術開発に取り組める環境づくりを進めていきます。

【事業名】▼新規就農促進事業(1,341千円)▼遊休農地解消事業(2,791千円)▼産業まつりに要する経費(3,548千円)▼地産地消推進事業(6,769千円)▼地域活性化の推進に要する経費(14,550千円)▼企業誘致推進事業(144,466千円)▼商工振興対策事業(15,068千円)▼中小企業資金融資事業(28,696千円)▼観光振興対策事業(16,227千円)。

④豊かな文化を創造するまちづくり

●目的：本市の誇り得る特色の1つは、先人から受け継いだ歴史と文化と風土です。

日常生活の中でふるさとにふれあいながら、市民一人ひとりが自分の能力を積極的に発揮し、お互いに教えあい、学びあい、高めあうことで生きがいを持って暮らせるよう、さまざまな学習活動を通じた地域社会への参画が容易にできる環境づくりに進めていきます。

また、未来のいんざいを担う子供たちがいきいきと学び、遊べる環境を整え、自主性や創造性に富んだ成長を支えていきます。

【事業名】▼きらり輝く印西の子供育成事業(2,201千円)▼就園奨励事業(108,338千円)▼小学校施設整備改修事業(177,814千円)▼中学校施設整備改修事業(56,100千円)▼(仮称)21住区小学校等施設整備事業(55,000千円)▼国際化推進事業(2,292千円)▼国際理解教育推進事業(42,735千円)▼各種スポーツ・レクリエーション大会に要する経費(13,808千円)。

⑤暮らしやすい都市機能のあるまちづくり

●目的：豊かな都市機能にあふれ、便利で安心して生活できるまちづくりを進めるため、基盤整備は、環境・ノーマライゼーション・防災など、さまざまな事業に配慮して進めていきます。

また、首都機能の一翼を担う業務核都市としての都心の形成を促進させ、交通事故や犯罪、自然災害から市民の生命・財産を守る安全なまちづくりをめざしていきます。

【事業名】▼都市計画決定・変更に関する経費(7,896千円)▼都市計画GIS整備事業(83,154千円)▼印旛中央地区土地区画整理事業(5,462千円)▼公共交通網整備促進事業(158,541千円)▼小林駅舎等整備推進事業(112,014千円)▼木下駅北口交通広場等整備事業(1,400千円)▼小林駅南口駅前広場等整備事業(52,344千円)▼住宅市街地盤整備事業(21,668千円)▼道路新設改良事業(418,502千円)▼21住区道路整備事業(80,620千円)▼市道物木滝線整備事業(62,269千円)▼防災情報システム整備事業(231,750千円)▼防犯対策に要する経費(74,702千円)▼合併処理浄化槽設置事業(81,108千円)▼雨水排水対策施設整備事業(42,449千円)。

⑥市民と共に歩みはぐくむまちづくり

●目的：真の市民参画を保障し、市民と共に歩み、はぐくむ市政を実現していきます。

このため情報の公開や提供を充実し行政の民主化を推進し、市民同士、あるいは市民と行政の交流を一層深めるための広聴体制の強化や意見交換・討議の機会を充実していきます。

また、コミュニティ活動の拠点となる施設を整備・充実し、情報ネットワークによる各分野にわたる活動の支援やリーダーとなる人材の育成を進めていきます。

【事業名】▼市民意識調査に要する経費(2,418千円)▼広聴事務に要する経費(43千円)▼町内会等に要する経費(35,846千円)▼市民生活動支援事業(11,611千円)▼総合計画策定に要する経費(7,002千円)▼情報化推進に要する経費(91,530千円)。

シリーズ・心の道標⑥ 生命にかかわる「摂食障害」

圏社会福祉課障害福祉班(☎内線268)

最近の「ダイエットブーム」と共に、「拒食症」「過食症」といった言葉を耳にしたことがあると思います。

「拒食症」は、太るとか太っているという身体の外見を極端に気にして、ほとんど食べず、脱水・低栄養状態に陥ったり、月経不順になったりと、健康面に支障を及ぼす状態になります。

「過食症」は、無理なダイエットに耐えられなくなり、暴飲暴食の末、食べてしまったという自責の念から、無理に吐き出したり、下剤を使用して食べた物を出したりという行動を繰り返すことで、消化器官や歯を痛めるなど、やはり健康面に支障をきたしてしまいます。

これらを併せて「摂食障害」と言われており、両者の行為を繰り返すうちに、精神的にも抑うつ状態になり、身体的にも日常生活にも支障が出てきます。

受診することを本人が拒否する場合があります。「必ず良くなるから、一緒に治していこうね」と声をかけ、コミュニケーションをとりながら、早めに受診ができるように環境を整えてください。

市では、社会福祉課障害福祉班で保健師・精神保健福祉士が相談に応じます。

※第10次実施計画(改訂版)は、企画政策課、印旛・本笠支所市民福祉課、各出張所・図書館で閲覧しています。また、市ホームページでも閲覧が可能です。☎企画政策課企画政策班(☎内線472)。

利根川堤防周辺に異常はありませんか ～見つけたらすぐに通報してください～

利根川周辺は、3月11日に発生した東日本大震災やその後の余震によって、堤防・護岸・樋管(用水流入や内水排除のため堤防を貫通して設置する地下排水溝)など多数の河川構造物が被災しました。

現在、目に見える被災は、仮復旧状態のまま大雨・台風などの時期を迎えます。さらに目に見えないひび割れや、ゆるみが発生している可能性もあり、降雨に伴う河川の水位上昇によって、漏水・堤防の滑りによる破堤が発生する恐れもあります。

そのため、市民のみなさんも日ごろから河川周辺の変化に注意していただき、危険を感じたら、早めの避難を行うと共に、防災課や地元の水防団(消防団)、下記連絡先に通報をお願いします。

なお、こうした災害に備えて、河川管理者(国)と市では①重要水防箇所の見直し②基準水位の見直し③河川巡視の強化④緊急用備蓄資材の充実を進めています。

◆河川や堤防の異常を見つけたら、下記までご連絡ください

国土交通省関東地方整備局 利根川下流河川事務所
〒287-8510 千葉県香取市佐原イ4149
防災対策課(☎0478-52-6365・FAX0478-52-9726)。
安食出張所(☎☎0042・FAX☎☎8539)。
北千葉導水路管理支所(☎04-7189-3211・FAX04-7189-6144)。